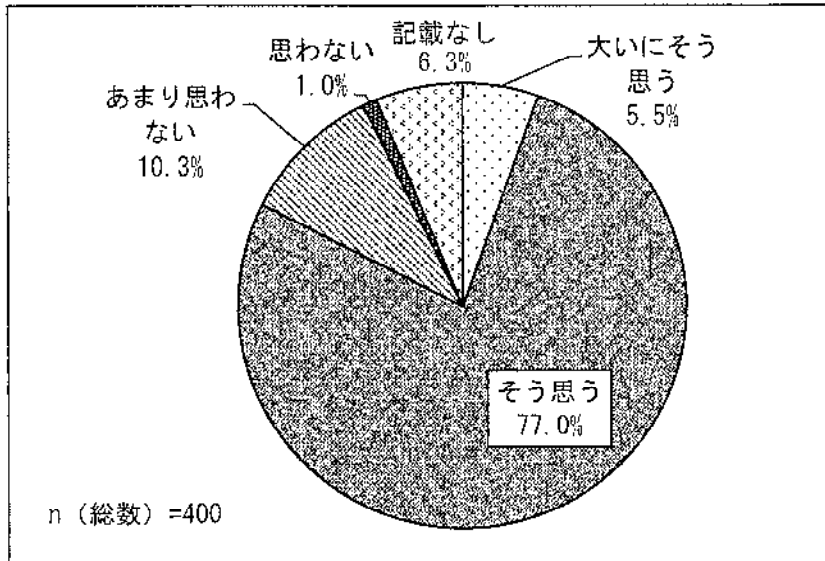


## 5 アンケート結果

### (1) 人権教育・啓発の取組の成果について

三木市人権尊重のまちづくり条例の制定から20年が経過しました。この間、三同教をはじめ、さまざまな分野で人権に関する取組がなされてきました。その成果について、参加者の方にお聞きしました。

《問》三木市は「一人一人の人権が尊重される明るく住みよいまち」になってきていると思いますか。



数値(%)は、すべて小数点以下第2位を四捨五入して表示しました。そのため、比率の合計が100%になりません。

三木市が一人一人の人権が尊重される明るく住みよいまちになっているかを尋ねた設問で、最も多かったのは「そう思う」77.0%でした。「大いに思う」「そう思う」を合わせると82.5%となり、8割強の人は「三木市は人権が尊重される明るく住みよいまちである」と感じているという結果になりました。逆に「あまり思わない」「思わない」を合わせると11.3%となり、1割強の人がそのように思われていないという結果になりました。

次に、回答ごとの理由を紹介します。

#### 【大いに思う】

- ・このような状況下でも、紙面上での交流を行って、理解を深めることができているため。
- ・それぞれの場面で学ぶ機会をもち、人権感覚が小さい時から身につく環境であると思うから。
- ・日々の保育の中で子どもたちの生き生きした姿を見ているから。
- ・条例によりさまざまな施策がなされていることが住みよいまちにつながっていると思います。これからもこの趣旨に沿って時代に合った取組を

市民主体でやりたいです。

#### 【そう思う】

- ・少しずつではありますが、さまざまな人権課題について取り組んでいる企業が増えていると感じます。
- ・社員を見る限り、男女年齢差無く活き活きと働いてくれていますので、そのように感じています。
- ・住民学習の積み重ねが成果を上げていると思います。
- ・さまざまな研修会などに参加させていただく中で、よく考えたり、学び

続けようと思うようになりました。

- ・近隣の方々が挨拶やあたたかい声かけをよくしてくださるので。
- ・お互いを思いやれる市だと感じることが多くなりました。(車同士、人同士の譲り合い)
- ・やらされている活動ではなく、自分たちも楽しみながら地域でさまざまな活動をしているグループが増えてきているように思います。
- ・三同教や総合隣保館、市民じんけんの集い、住民学習などの取組により、その成果や課題が丁寧に扱われ、確実に明るく住みよいまちになってきています。
- ・認知症の人や家族を支援するボランティア団体の活動など、地域の助け合いの活動が生まれています。
- ・ある外国籍の方に話を聞いた時、「三木市住みやすい。みんな優しい。友だちも呼んであげたい」と言われたのが忘れられません。
- ・通勤時に児童・生徒の交通安全を守る地域の方々を見ていると大変安心します。また子どもたちが元気にあいさつをし、地域とのつながりが続いているように感じます。
- ・人権学習に参加する機会が豊富にあり、人権問題を身近なものとして常に意識できる環境にあるため、考えたり学び直しができていると思います。
- ・市内のあちこちで人権に関するポスターなど目に触れることがあり、自然に意識が高まっていると思います。
- ・一人一人個性や個人差があることを認識し、それぞれの良いことや成長の姿を見守ったり、共有・共感し合える場があるため。
- ・日常生活を送る上では、さまざまな人に対して配慮された施策や取組がみられるようになってきたため。
- ・ボランティア団体が多いと感じ、子どもたちや高齢者、障がい者への取組がなされているため。
- ・教師が人権の研修を重ね、さまざま

な人権の観点から、道徳だけでなく、全ての教科・教育活動で子どもたちの指導に取り組んでいるため。

#### 【あまり思わない】

- ・コロナ感染者が名乗り出られないような現状を見れば、人権を守られないと思われていることがわかる。
- ・三木市だけの問題ではなく、社会全体として人と人とのつながりが薄れていく傾向にあるように感じます。
- ・近年、外国籍の方が三木市に多く住まれるようになりました。しかし、その方々や子どもたちにとってもっとさまざまな手立てが必要だと考えるから。
- ・行政や社会にまで届いていない声に耳を傾け、本当に困っている人たちに光が届いていく世の中にしていくために、もっと私たちにできることを探っていくべきだと感じるから。
- ・多くの場面で、「お互いさま」「譲り合い」のような考え方が薄まっているように思います。
- ・人権意識の高さについて、個人差が大きいと感じる時があります。
- ・学校・公民館・自治会・PTAが主催している人権学習を受けている方は未だに少ない。三同教という言葉を知らない方も身近にたくさんいらっしゃいます。住民学習も自ら参加される方は少ないです。

#### 【思わない】

- ・三木市に外国籍の児童生徒が増えていますが、全く手だてがなされていません。通訳や日本語指導など予算や人をつけて、きちんとしてほしいです。逆に日本人が外国の学校に行った際、その日のうちに通訳がつくなど手だてがなされると聞いています。どこの国の人も大切にしてほしいです。
- ・大人が弱い子の味方をし、強い子の意見すら聞かない固定概念があるため。

(2) 今後取り組むべき人権課題

今後どのような人権課題に取り組む必要があるかを尋ねた設問（複数回答）で、一番多かったのは「コロナウイルス感染に起因する問題」でした。次に「インターネット」「外国人」「障がい者」「LGBT等性的少数者」「同和問題」の順で回答が多く寄せられました。

《問》 今後どのような人権課題に取り組む必要があると思われますか（複数回答）

